

花粉供給緊急対策事業について

支援対象者：常陸農業協同組合

1. 趣旨

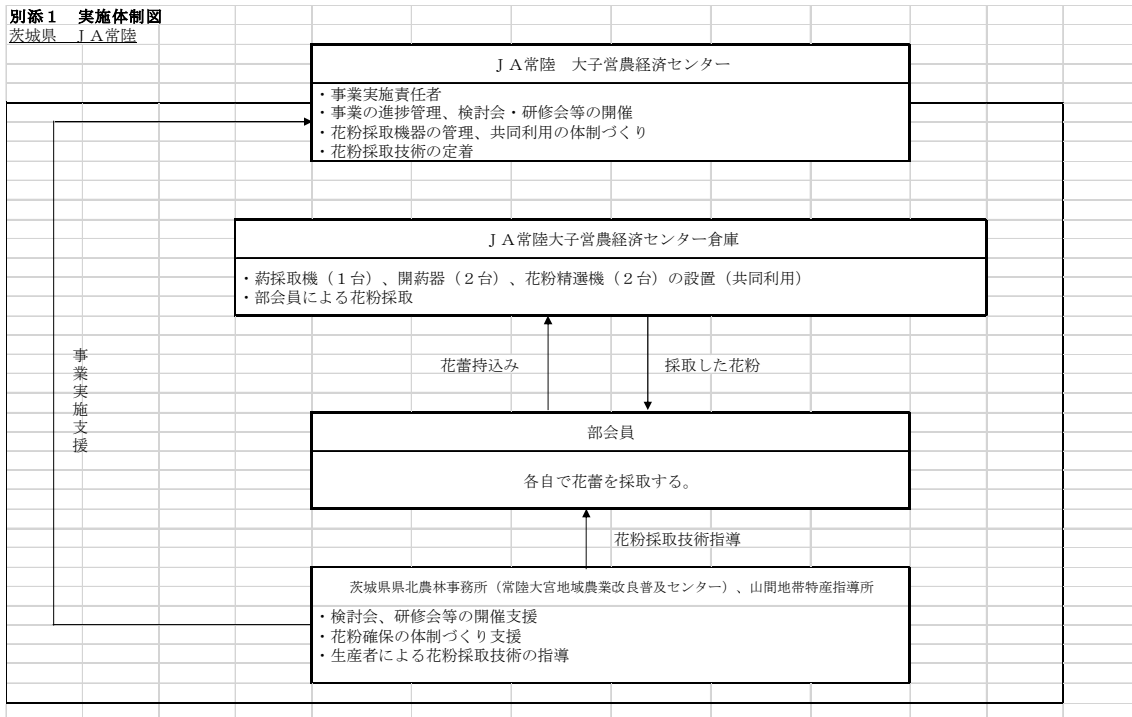
中国国内における火傷病の発生を受け、令和 5 年に中国産のりんご花粉の輸入が停止されたことにより、人工授粉用の花粉が不足することで、生産量が減少するなど農業経営へ影響が懸念された。りんご生産に必要不可欠なりんごの花粉を確保するため、国の果樹農業強靱化緊急対策（花粉供給緊急対策事業）を利用し、りんご生産者の花粉共同生産強化に向けた体制を構築する。

2. 取組内容

当産地（JA 常陸大子町りんご部会）は栽培面積 53ha、販売量 700 t の観光直売のりんご産地であり、必要花粉量のほぼ全量を中国産花粉に依存しているが、中国産花粉の輸入停止措置により令和 6 年産りんごの生産に必要な花粉量を確保する事が困難となった。（純花粉で 1,700 g 不足見込み）。そのため、事業を活用して生産者が共同で花粉を生産することを目的として、輸入花粉に頼らない体制を構築する。

具体的には、採花可能日数 4 日のうちに 75kg/日の花を採取し、計 300kg の花を JA 常陸大子町農経済センターに設置した機器を共同利用して、1,700g（令和 5 年度の部会での花粉購入量）の純花粉を得る。共同利用にあたっては、生産者各自が花を持込み、各自で機器を使用する。この際、機器使用予定表により、使用が集中しないように調整する。なお、余剰花粉が生じた場合には、花粉が足りていない生産者に無償で融通することも考える。

3. 実施体制



4. 取組結果

JA 常陸大子町りんご部会における花粉確保の体制を構築し、共同利用により、目標の1,700g に対し、1,765g の純花粉を確保でき、採取した花粉は今年的人工授粉に使用され、不足も生じなかった。採取した花粉を受粉した「ふじ」の着果状況については、6月3日、5日に提供者（11人）を巡回し着果良好であることを確認した。

花粉を採取する品目名・品種	実証で得た花粉量（g）	授粉先の品目名・品種名
りんご・陽光、ぐんま名月等	計画量：1,700g（純花粉） 実績量：1,765g（純花粉） 陽光 128.8g、ぐんま名月 113.4g、ふじ 440g、 王林 149.5g、スターキングデリシャス 125g、 千雪 120g、秋映 79.5g、清明 77.9g、はるか 65.6g、シナノスイート 54.4g、さんさ 47g、シ ナノゴールド 33g、千秋 27g、紅玉 12g、ピン クレディ 8.7g、世界一 8g、秋茜 6g、その他（混 合花粉） 269.3g	りんご・ふじ

※その他（混合花粉）については、一度に 2～3 種の花蕾を混ぜて花粉採取を行ったもの。

5. 成果及び今後の課題

- ・機械導入により必要花粉量に対して、それ以上の花粉量が得られたこと。
- ・花蕾の採取時期と受粉時期が重なり労力確保に課題が見られたが、産地で必要な純花粉量以上の花粉を確保し、授粉作業を問題なく実施できたことから着果は順調であり、平年並みの出荷量を確保できる見込みとなっている。今後、高齢化等により個々での花粉の調整が困難となる事を鑑み、引き続き共同採取の取り組みを進める必要がある。



MK-402 薬採取機



M-6000 開薬機 (2台)



PS-2 花粉精選機 (2台)